



カンボジアの青い空



富山県カンボジア王国親善協会

事務局・富山市小中163番地

阪神化成工業株式会社内

T 076-429-1865 F 429-6042

発行責任者 中村政勝

事務局担当 石黒美和・金厚真由子

カンボジア王国より

学生が富山へ・・・同行記

富山県カンボジア王国親善協会・副会長
(有)タカギシ 代表取締役会長 高岸和男

富山県カンボジア王国親善協会も設立して5年の歳月が流れました。その間様々な交流の中で、今年度の事業としてカンボジア王国の青少年(いなほプノンペン日本語学校の学生)5名を、富山でホームステイすることが決定。彼らの夢が大きく膨らんで、数多くの見物観光に関するリクエストも出されましたが限られた滞在時間の都合で全部クリアはできませんでしたが、おおむね達成されたと思います。

さて、私は8月2日に、北日本新聞社・河合隆会長様はじめ、富山市役所・森雅志市長様、魚津市役所・沢崎市長様・長島教育長様へ表敬訪問を致しました。公式訪問なので、カンボジアの民族衣装にて訪問致しました。

富山市役所正面玄関入口には、国家国民のシンボルである、日本国旗とカンボジア国旗が翩翩と風になびいて、私たちが心より歓迎するかの様に見えました。応接室には、テーブルに歓迎の意を表す日本国旗とカンボジア国旗が飾られていまし

た。さすが、富山市は国際人との交流が多いので国旗掲揚で敬意を表し、外国人は改めて“もてなしの心”を痛感したと思います。

席上、富山の街は綺麗な街並みで、街角には花壇があり、車道、歩道が整然としている。また、花火大会では、花火の大きさ、音、綺麗さ、華やかさは、大輪の花が咲いている感じの花火で、カンボジアでも花火はあるが比べ物にならない！満天の夜空に鳴り響く花火は、驚きと感動で時間の経つのを忘れていた。と、感想を申されました。

魚津市では、女性用靴下メーカーである、オーアイ工業様を訪問しました。日本語学校の学生は、日本で就職したい考えの人の集合体(学生軍)で、早い話が日本での就職を希望し、併せてリサーチする目的で来日している感じがあり、オーアイ工業でも、外国人就労者も数多くいますので親近感を受けたのか？就職に付いての質問が出ました。

日本に来たら水族館を見たい！とのリクエストにより、魚津水族館を案内しました。学生たちは難しい説明を聞くより、大きな水槽の前で大きな手を広げて、写真を撮ったり様々なポーズをして奇声をあげていました。海の魚は見た事が無い！ペンギン、あざらし、亀等々を見て、ワニはいない！との素朴な質問もありました。



左＝国旗・壁内側。中＝富山市役所・市長応接室にて。右＝魚津水族館。説明を聞くより、まずポーズ？

カンボジア王国からのホームステイ生徒・喜怒哀楽大特集号

いなほプノンペン日本語学校の全景



チュム スレイネットさん (22歳)



ホール ラタナーさん (23歳)

◆来日・日本語学校生徒の紹介

- ◆滞在日程=7月28日~8月7日(10泊11日)
- ◆本校校舎は、左写真の通りである。
- ◆この日本語学校は、プノンペン本校、カンダール校、タケオ校、ポーサット校の4校が有る。今回初の、ホームステイ事業として、プノンペン本校より、5名の生徒が来日した。

喜怒哀楽の成り行きは、次頁以降のお楽しみ？



オム チャンカンニャリット先生 (30歳)



ポート ラタナーさん (25歳)



ブン ソクナーさん (21歳)

かんしゃのきもちをあらわす

オム チャンカンニヤリット

はじめまして。私はオム チャンカンニヤリットともうします。

はじめて、日本にきた時、私はとてもびっくりします。そのとき、中村さんと中山さんとひろこさんと高井さんとアオミさんが私たちをむかえにきました。ものすごくうれしかったです。

車の中でとやま町を見ながら自分で考えました。何で町の中にごみはありませんか？日本人は何でひだりがわに運転しますか？ふしぎなことがたくさんあります。

私たちは動物えんへ行って、そのところはいろいろな動物がいます。動物えんの中には一番おもしろいのはキリンです。私はみたことがありません。テレビだけみます。びっくりしました。

かえるとき、Favoreスーパーマーケットでかいものに行って、ひるごはんは日本りょうりをたべました。そのりょうりはおまかせミックスでいしくとよばれています。

食べてからとやまとしょかんを見に行きました。私は漢字の本はきょうみがあるのでいっさつの本を見ました。その本はよみ方とかき方もわかりやすいです。私はその本がほしいです。日本人はよむことがだいすきだとおもいます。若い人と、としよりの人もよんでいます。

ごご、私はSray Netさんと4人のはんしんしゃいんはいっしょに自転車で100円ショップピングへ行きました。中はきれいな物がたくさんあるので、わたしはもんぜんさんのもらったお金でかいものしました。

1日ご6時にはなびたいかいを見にいきました。私たちはとくべつなせきにすわりました。むかしアメリカぐんはばくだんをあたえました。じんずう川でたくさんしんでいました。その時から、まいねんはなびたいかいをします。さいしょ私たちはいみがわかりません。いつもきれいだとおもった。カンボジアははなびたいかいがありません。年に2～3かい(ちいさな)みえます。

日本で、はなびのかたはこころとかどうぶつがあります。とてもおもしろいです。

かんしゃのきもちをあらわす

チェム スレイネット

私は7月27日12時にしゅっぱつしました。はじめて、ひこうきののりました。私はきんちょうしました。ひこうきの中はさむいです。4時10ぶんShanghaiにつきました。Shanghaiのくこうはおおきくて、私たちはこのShanghaiでまよっていました。私たちはしんせつな日本人にあいました。この人はとやまけんにすんでいます。

29日9時に、私たちとはんしんの人といっしょに、もんぜんさんのくるまでどうぶつえんへいきました。日本のどうぶつえんはおおきいです。そして、とんねるを見ました。このとんねるは、500mです。日本はとてもすごいです。カンボジアにはそんなところがありません。

それからとしょかんにいってきました。としょかんの中でいろいろながいこく人にあいました。そのとき本の中にむずかしいかんじがかいてあるので、私はよめませんでした。だから1人の日本人にききましたがかのじょもよめませんでした。としょかんの中にはカンボジアの本もあります。

3日私たちは日本のうみへいきました。うみはきれいです。私はびっくりすることは、ふねのうえにカンボジアのはたがありました。とても、すばらしいです。

重要文化財をみにいきました。このところはいみがあります。むかし日本人はふねでもつをうりました。そのところは、重要文化財とよばれました。とてもおもしろいです。

4日私とオムさんは、たかいりょうしんとあそびにいきました。さいしょはたかいさんのおくさんのおとうさんのうちにいきました。私たちは、びっくりしました。おとうさんは「いなほプノンペンがっこう」にいかいきました。私は見たとたんにおもいだしました。

そうべつかいで、私たちはひとりずつおれいことをはなしました。きょうはとてもすばらしいです。私はいま日本のしゅうかんとかぶんかとか日本人のせいかくはよかったです。

私は、おきやくさまにほんとうにありがとうございます。ごうございました。

生徒からのメッセージ

ポート ラタナー

「日本人のうんてんについて」

日本人のうんてんは、みちのひだりがわをまもりちゃんとこうつうしんごうをまもっています。特にうんてんしている時に、おたがいなところがわかっています。

「あいさつについて」

カンボジアはあいさつがあるんだけど、あまりつかわないです。日本人はちゃんとあいさつをやっています。たとえば、まいあさおきてからあう時に「おはようございます」といわれています。ひるの時は「こんにちは」といわれ、ねるまえに「おやすみなさい」といわれています。ごはんをたべるまえに「いただきます」といわれたべてから「ごちそうさまでした」といわれています。それは、いいしゅうかんです。

「はなびたいかいについて」

はなびたいかいをおこなうのは、せんそうについて、いみをふくみました。せんそうのせいで、日本人がたくさんしなれましたけど、せんそうのおかげで日本人はもっともっとがんばりました。いままで日本はどんどんはってんしています。でも、カンボジアには、はなびをうつのはなんだか、せんそうのないようをふくまなくて、ただたのしませるだけです。

いま、私は日本人のせいかつと日本のしゅうかんがよく分かりました。私はカンボジアにかえってから、ともだちとりょうしんにおしえようとおもっています。

ホール ラタナー

私ははじめて日本に来てとてもたのしかったです。なぜなら日本とカンボジアとくらべたらぜんぜんちがいました。たとえばゴミがありません。さらに日本人がちゃんとしんごうをまもっているのこともきちんときれいにしている。

まいにち、よくべつべつのところに行って、あそぶところとか、こうじょうとか、まずHANSHIN KASEIというかいしゃに行って、そのかいしゃはゴムでかんとびんをつくらせていて、つぎはTAIWAというかいしゃも行って、そのかいしゃはおこ

めをつくっていて、一緒にしゃちょうとおこめのことをそうだんして、今からカンボジアでこういうかいしゃをつくる。さらにいろんなかいしゃに行って、私はたくさんいろんなことをべんきょうしました。日本人のせいかつとか、しごとのやりかたとか、日本のせいひんはどうやってつくのか、今はちよつとわかっていた。だから日本はあんぜんな国です。

しゃちょうたちは、いつもおげんきになってください。またチャンスがあったらここにきたいとおもっています。

フン ソクナー

わたしのかんそうについてはっぴょうします。まずはにほんにきたときはうれしかったです。そして、しんぱいすることもありました。なぜかという、にほんのかんきょうはほぼきれいだししんごうもみんなまもっていることです。これはよかったです。それににほんのせいかつについてカンボジアのせいかつはぜんぜんちがいました。なぜなら、にほんじんはちゃんとじかんをもっています。そして、にほんじんはほんとうにやさしいし、しんせつだし、これはびっくりしました。それだけではなく、みんなはわたしたちをつれてあそびにいきました。そのときは、ほんとうにけしきいいです。そしてやまがたくさんあったし、たかいです。それに、やまにたくさんゆきがあった。わたしたちは、さわりました。とてもつめたいです。そしてはじめてみました。とてもたのしかったです。さらに、ちゅうごくじんがあそびにきました。たくさんいました。そして、にほんのあそぶところは、とてもあんぜんだとおもいました。よかったです。

にほんじんのにほんごいうときは、ほぼわかりました。そして、きくこともわかっていました。

にほんじんは、だいたいおきるじかんは、ごじにおきますね。これをみていて、だからわたしはごじにおきてみたいとかんじていました。いまはおきるじかんはわたしにとって、にほんじんみたいにおきました。そして、カンボジアじんのあいさつと、にほんじんのあいさつくらべたら、ぜんぜんちがったんです。にほんじんのあいさつをみたあとかんどうしました。そして、にほんじんのあるきかたもすごいはいやくあるいていました。そして、くだものやのみものなどをたべたあとでちゃんとすてました。これもべんきょうになるとおもっていました。

おせわになりましてありがとうございます。

(株)タイワ精機様訪問

株式会社 タイワ精機
広報課担当 大上普子

「どうして日本はこんなにキレイなのですか？
どうして信号を皆守れるのですか？どうして挨拶
がしっかり出来るのですか？」

私たちには当たり前のことですが、真剣な表情
で問われると答えに困ってしまいます。

去る8月1日、タイワ精機に富山県カンボジア
親善協会がホームステイに招待された、いなほプ
ノンペン日本語学校の5名が来社されました。タイ
ワ精機はプノンペンに現地法人があり、この会
報誌にも良く登場するブティモニラ氏は、この7
月から現地法人の社長となりました。昨年11月
には、社員と協力会社のメンバー合わせて58名
でカンボジアへ研修旅行に行くなど、カンボジア
とは切っても切れない深いご縁があります。
ですから、オム チャンカンニャリットさん始め
5名の皆さんとも、“初めて会った気がしなかつ
た”と言うのが正直なところです。

自己紹介から始まり、タイワ精機が開発・製造
している精米機の実演や、プノンペンの工場の説
明を身を乗り出して聞き、質問をしていた様子は
真剣そのもの。初めての日本式もちつき大会は、
“ヨイショ！”の掛け声で盛り上がり、昼食直後
にもかかわらず、「おいしい！おいしい！」と、
きなこ餅や磯部巻きのお餅をロー杯にほおぼつて
いた姿がとても印象的でした。限られた時間の中、
それでもなるべく多くを対話する時間にあて、ほ
とんどの皆さんの口から出た言葉が冒頭の質問で
した。

私が5人に質問したかったこと。

**「どうしてそんなに無邪気で素敵な笑顔が出来る
の？」**



タイワ精機で餅つき大会！素敵な笑顔！

同窓生と感動の再会！

阪神化成工業株式会社
カンボジア実習生 サオ キムリィー

2012年7月28日午後、カンボジア人5名のホームス
ティの方が富山県に無事に到着しました。皆さんは私たちと
同じ学校で勉強しています。長い間会えなくて久しぶりでし
た。会えてとっても嬉しかった。相変わらず元気ですね。

男の人は社長の各家に泊まりましたが、女の2人は阪神寮
で、土日だけ一緒に泊まりました。夜遅くまで話をしたり、
朝一緒に食事をしてから遊びに行ったりしました。

動物園に行きました。その後は、スーパー、阪神化成のな
し畑、そして富山図書館。本がたくさんあります。面白かつ
たです。それだけではなく立山も行きました。景色が良かつ
たです。絵みたいで素晴らしい。写真もたくさんとりました。
自分で行って見ないと信じられない景色でした。そして花見、
野球しあいも見に行きました。たのしかったです。

一週間早いものですが、いい思い出になりました。皆さん
が帰国前に送別会がありました。私達も参加しました。社
長のお話がおわってから、5人の感想もありました。

日本にいる間に、どんな事でもチャレンジしたいと思いま
す。よろしくお願いします。

阪神化成指導員・青海燕燕から一言

寮で実習生を受け入れる経験は、誰にも負けないと自慢が
できますが、ホームステイとしてカンボジアの方を受け入れ
るのは初めてです。一番悩むのは、やっぱり言葉、習慣そし
て食事です。幸い阪神寮には富山の生活にすっかり馴染んで
いるカンボジア実習生が8人もいます。指導員としてするこ
とはホームステイのお二人を気持ちを含めて歓迎する。そし
居心地の良い部屋と寝具一式だけです。先の実習生の勤務を
調整してもらい、歓迎会、呉羽方面、立山観光、砺波・五箇
山方面、送別会等に8名を交代で同行させました。寮に戻つ
ても経験豊富な実習生に「お願いします」の一言で、私は安
心して家に帰ることができました。



呉羽山・阪神梨園で摘果作業とツマミ食い



第一ホテル歓迎会。中山お父さんの名司会
お父さんはジョースですネー



北日本新聞社・河合隆会長訪問 当会相談役
2年前に、カンボジア訪問名誉団長でした



魚津市役所・沢崎市長、長島教育長訪問
カンボジアの将来の為に、良く理解しないと



魚津市・オーアイ工業㈱訪問
社長さん、この会社に就職したいな〜



カバンの㈱ハシモト・橋本洋二社長訪問
この人が、ランドセル寄付で有名な社長さんだ〜



萩浦工業㈱・斎藤博社長訪問 熱弁を奮う
ランドセル贈呈委員長だった偉い人だよ



環水公園から遊覧船で岩瀬方面へ
内心、メコン川より小さいナ〜と思ったヨ



富山港湾運送㈱の金尾社長と高井なおみさん
貨物船後方のカンボジア国旗にびっくり！



岩瀬浜の海と砂丘で、ベツチャベチャ
泳ぎたかったネー



称名の滝。落差の意味がわかりませ〜ん
カンボジアと同じ気温です



立山で初めて見る雪渓の中、ピース雪合戦
雪を食べてみたかったナ〜



前から2番目の男性！ホール君に似てるナ〜？
プラカード女性の後ろが門前お父さん



第一ホテル送別会。高田会長は標準語が上手だね〜
中村お父さんは富山弁の先生です



第一ホテル送別会。伝統舞踊ナンチャラ踊り
日本で言うとおわらダス



第一ホテル送別会。門前師匠の特訓でおわらだよ！
しっかり踊らんと、お父さんに叱られる



第一ホテル送別会。標準語で挨拶します？
早く富山弁を忘れましょう

(株)中山塗装工芸社
代表取締役社長 中山隆

健やかな心と心のふれ合いと、社会貢献を目的としたカンボジアで日本語を学ぶ5人の生徒達の受入れが富山県カンボジア王国親善協会の本年度の事業として毎日のように猛暑が続く真夏の季節に行われた。

最初の日の夜の歓迎会では、会員の方々、ホームステイ先の人達が整列すると、生徒達は長い旅であったにもかかわらず、疲れた様子を見せることもなく、代表で教師のオム チャンカンニャリットさんが「これからしばらくお世話になります」と挨拶し、ひき続き生徒一人一人が日本語で自己紹介をした。きつとしっかりと練習してきたのだろうと思った。

翌日からは中村事務局長の旅程表のもと、スケジュールがどんどん進行していくこととなる。私は富山市の納涼花火大会と富山市役所、魚津市役所、北日本新聞社への表敬訪問と魚津水族館見学の日に彼らに同行した。花火大会では花火が大きく、打ち上がる数も多く、形もいろいろあって、とてもきれいだと言い、水族館では、彼等の住む町の川や湖にはきつといないであろう大きなタコに大変興味を示した。

私の家にはオム チャンカンニャリットさんとチェム スレイネットさんの二人の女性が夕方から翌朝までの限られた時間4日間滞在した。家庭での日常生活体験をするという意味では時間が少し足りなかったかもしれないけど、トイレに始まり、シャワー、エアコンの使い方、食事時の料理の作り方、出し方、食べ方、後片付けの仕方等々、女性だけに非常に興味深かったのか写真を撮ったり、メモをとったりしていた。私たち夫婦は彼女たちから「お父さん、お母さん」と呼ばれカンボジアの話、あれやこれやの日本の話をしながら食事を楽しんだ。特にカレーライスが気に入ったようで「カンボジアのカレーよりもずっっとおいしい」と言ってお代りをするくらいだった。

日々、二人だけの生活を送る夫婦にとって、久しぶりの笑顔と笑い声とで家庭が明るくなり、まさに恵の訪問者だった。別れの朝、玄関先で記念写真を撮った。背には今日も暑くなるぞと言わんばかりの太陽と、澄んだ青空が広がっていた。



本当は、母ちゃんの写真も有るんです！

株式会社 タイワ精機
代表取締役社長 高井良一

「初めて外国へ行った時の気持ちはどんなだっただろうか？加えて、初対面の人の家に泊まるということは、どんなに不安なことだろう」

ホームステイを引き受けるにあたり、自分の経験に照らし合わせて家族で事前に話し合った。経験上、第一印象が与えるインパクトは相当に大きい。私もいろんな国へ行ったけれども、空港に到着した時のイミグレーションで大勢は決すると思うほどだ。

去る八月二日～五日、オム チャンカンニャリットさん（カーさん）、チェム スレイネット（スレイネットさん）の二人に三泊してもらった。中山さんから引き継いだ時の「納豆以外は大丈夫だ」という貴重なアドバイスに基づいて、我が女房殿は料理の組み立てを考えていたようだ。やっぱり食べ物は大事だからね。結果から言うと、受入れ側の意気込みとは裏腹に、一番おいしかったのは鮭の塩焼きだそう。なんだか力の抜ける結果になったが、案外そうなのかなとも思う。ちなみに二番目は天ぷらそばだって。

日本のなんちゃって仏教と違い、厳しい上座部仏教の国カンボジアだけあって、日本の寺と神社へ行きたいとの希望。おみくじに大喜びしつつも、かなり神秘的な面持ちで手を合わせていたのが印象的であった。日本のお坊さんは結婚することを聞いて、理解できたかどうか？

彼女らがカンボジアに帰国してから電話あり。友人、同僚に多くの写真を見せながら、日本の話しをしたとの事。話しを聞いて私も嬉しかった。今度、私がカンボジアを訪問した時には、手作りのアモック（川魚の煮たもの）とチョンチャークルン（たにしの煮たもの）でもてなしてくれるそう。今から楽しみだ。



母ちゃんと、一緒に行こうかな～？

企業訪問

富山港湾運送㈱様訪問

富山港湾運送㈱
代表取締役社長 金尾雅行

8月3日、強い陽射しの中、カンボジア王国の青少年たちは、環水公園からボート「もみじ」に乗り込んで岩瀬の船着き場にやってきました。出迎えた私と地元の観光ボランティアの古市義雄さんに、爽やかな笑顔で礼儀正しく挨拶をしてくれ、気持ちよくこの日の案内を始めることができました。「森家」への案内を含め日本語でのガイドに緊張感をもって、一生懸命聞き取る様子に真摯な姿勢がうかがえ好感がもてました。

昼食を終え、富山港展望台に昇り、富山港の視察をし、その後、地元におられる木彫家の岩崎勉さんのご好意により御自宅の工房で同氏の作品の鑑賞と製作過程などについて話しをしていただきました。当社にも立ち寄ってもらい、富山港の現況や周辺産業についての簡単な説明なども行い、富山への理解を少し深めてもらいました。

海を見る機会が少ないと聞き青少年達を岩瀬浜にも案内したところ、年長者も屈託なく、波と戯れてくれ、楽しい思い出になるひと時を過ごしてくれました。

富山港の視察では、港に折よくカンボジア船籍の船が2隻国旗を掲げて入港していました。便宜置籍船であることを知り、少し残念そうな雰囲気。しかしいい歓迎になりました。やがて、経済発展とともに、来日した彼等世代が国を担い、運航を含めたカンボジアの船も登場してくるのではと、彼等を見ていると感じさせるものがありました。私共も、富山港に入港する外航船の30%近くが、カンボジア船籍の船であることに改めて気が付き、カンボジアを身近に感じました。仕事柄、外国の人達に接する機会は比較的多い職場ですが、カンボジアの青年達の訪問を受けるのは当社も初めてでした。当社としても地元としても、もっと外国からの来訪者へのパンフレットの整備などを進めたいものだと思われ改めて感じた次第です。



会社正面で金尾社長と。さすがにピース無し？

企業訪問

富山日本語学校様訪問

NPO法人富山国際学院
理事長 奥村隆信

1993年4月に1期生を受け入れた富山国際学院は、これまでに約30か国・地域の前途有為な若者たちの日本語学びの場となっている。

7月30日(月)午後4時、中村社長に引率されたカンボジア人5人(いなほ日本語学校プノンペン校)が来校。「Chumriap suo!Khnyom chhomoh 奥村。」とネットで調べたカンボジア語での挨拶をした後、教室にご案内する。学院は午前が中上級クラス、午後が初級クラスで、ご一行には午後のC組・D組に入っていた。クラスでは5人の自己紹介、日本語学習のこと、お互いの質問など全て日本語で過ごしてもらった。

C組・D組の学生の出身は中国・ネパール・タジキスタン・ルーマニア。こうして様々な国からの若者たちが**日本語を共通言語として交流する姿**が見られるのは、日本語教師冥利に尽きる。

カンボジアというと、恥ずかしながら、アンコールワット、シアヌーク殿下、クメール・ルージュ、ポル・ポトくらいしか思いつかない。地雷撤去など難しい問題も抱えた国なのだろうが、こうして短時間ながらカンボジアの若者らと接して、カンボジア王国の明るい未来がひしひしと感じられた。



前列5人が、カンボジアのホームスティ生

受入れ生徒名
ポート ラタナー

ポート ラタナー君を招いて

株式会社 タイワ精機
常務取締役 成川栄一

今回のホームステイの受入れを家族に相談した所、私が仕事で出張する機会が多い国でもあったか、家内や家族も身近に感じてくれ大賛成で、真っ先に受入れを申し込みました。

7月28日から8月1日まで、ポート ラタナー君に5泊してもらいました。彼が我が家に来て一番最初にしたのは、廊下に面した各部屋の入り口のドアに「便所」「洗面所」「居間」「自分の部屋」「父さん母さんの部屋」など、クメール語で書いた貼り紙をしたことでした。最初は戸惑っていましたが、間違えてドアを開ける心配も無くなり、安心した様子が印象的でした。

また、彼は料理が得意でカンボジア風「野菜炒め」を作ってくれました。調味料の違いもあって、思うように味が決まらず苦勞していましたが、食べてみるとこれが絶品で酒のつまみにピッタリ。食事後の洗い物も彼の仕事となって、家内も楽をさせてもらったようです。

二人の子供は女の子なので、家内にしてみたら念願の息子が出来たようで、登山用の帽子・ズボン・シャツなど素早く買ってきてプレゼント。また、普段は外出嫌いですが毎朝の集合場所に送ったり、カンボジアに帰る時は空港まで見送りに行ったりと、その変わりように驚きました。わずか5日間の出会いでしたが、多くの思い出を残してくれて大変楽しく過ごさせてもらいました。

ラタナー君のお陰で、家族もカンボジアに対する不安が少なくなったようで、私の出張も安心して送り出してくれるようになりました。機会があったら家族を案内して、カンボジアの青い空を実際に感じてもらいたいと思っています。



タイワ精機工場内・餅つき大会の風景

餅をつくポート ラタナー君と、左・指導する私

受入れ生徒名
ホール ラタナー

ライオンズクラブとは違う
ホームステイを経験しました

阪神化成工業(株)
総務部長 門前昌志

カンボジアで日本語学校に通う青年「ホール ラタナー」君のホームステイをお受けしました。家族は、「今度はどこの国の人？」と興味深々。いままでライオンズクラブで4回ほどホームステイをお受けしたことがあったので「英語力を試そーっと。勉強しなきゃ〜」と高2の次男坊。しかし今回は、ホール君と日本語で会話ができたことと、彼の性格か、おとなしくて、物静かで、優しい青年でしたので、家族7人全員和やかな雰囲気でした。なんと、一番親しくなったのは、当年81歳！家で農業に従事している私の父でした。

「かわいい子だの〜」「一緒にハウス行かか！」

「枝豆とれたから一緒に手伝って〜」

男の子なので、家事の手伝いはしませんでした。軽トラックに乗って、父と一緒に毎日楽しく過ごしていました。(彼も手伝いが楽しそうでした)

そして、会社では富山まつりの越中おわら踊りに毎年参加しています。たまたま、まつり当日に予定が空いていたので、会社の仕事が終わってから、輪踊りを一緒に教えて踊りました。わずか3日間の練習で、踊りを覚えてくれ、業界の人たちと一緒に本番でも大活躍！送別会でも踊りを披露して自慢げなホール君。

今度、カンボジアで会える日を楽しみにしています。

◆ビックリ
5日間・毎朝
ハウス内
お父さんと
一緒に栽培
農業に挑戦！
転記者・感嘆



第一ホテル前。おわら本番前の緊張の一瞬

通訳からのメッセージ

ウン ソピリア

1975年4月17日から1979年1月7日までポルポトと言う内戦時代で沢山の家族が自分の両親や兄弟などと別れてしまったり、国内にはほとんど何も残せずカンボジアを表す文化文明や宗教なども破壊されてしまいました。更に、その時代から残された地雷がカンボジアの短所になり、カンボジアと言う地雷だらけの国だと聞いたとたんに、各カンボジア人がとても恥ずかしくて、心も痛くてたまらなくなってしまいます。私もその中の一人でした。そして、その時代から残った人々の期待がもう一度あんな苦しい時代に戻りたくないと言う気持ちで、頑張って仕事をしたり、自分の子供を勉強させたり、その力と知識でもっとカンボジアを助けられるようになってと思っています。

今回カンボジア人をホームステイさせて頂いた富山県の色々な企業の社長に日本の文化や習慣などを実際に教えてもらったり、市役所や新聞社などに連れて行ってもらいました。一番感動したのは色々な企業と泊まったホテルと市役所の前にカンボジアの国旗を上げて頂いたことです。そして、お忙しいのに時間を頂き、合わせて頂いた富山市と魚津市の市長や北日本新聞の会長や色々な企業の社長などにはカンボジアにいらっしゃった事もあるので、カンボジアの歴史をよくご存じでお話を聴かせて頂けてとても嬉しくなりました。

さらに、将来カンボジアのお米を外国に売り出せるようにカンボジアのフンセン首相のライスポリシーに協力して頂いたタイワ精機の会長からのお話によると来年からお米が粳から美味しい白米にする機械の工場がもっとカンボジアが立派な国になるようスタートとおっしゃいました。機械が来年からカンボジアの工場ですべてそのような事が出来ると言う期待にカンボジア人として感謝して応援しております。

世界へ知り広がるカンボジアを応援して頂いている方々と協力するのが大事だと考え、もっと頑張る勉強して精一杯仕事をしないといけないと感じています。素晴らしいカンボジアの未来へ歩んで行きたいので、宜しくお願い致します。

今回のホームステイの一部に参加させて頂いて本当にありがとうございました。

通訳からのメッセージ

ワン オダ

富山に着いた時、ポートラムを見て、とても驚きました。次に、タイワ精機を見学した時、白い米を作る機械を見せてもらったり、農薬を使わないで田圃の作り方を教えてもらいました。近い将来、カンボジアで工場を作る予定があるので、私はとても感動しました。タイワ精機にとっても感謝します。その日の夜は、花火大会に参加させて頂きました。とても楽しかったです。なぜかと言うと、花火がたくさん上がって、音も大きい、綺麗だし、それに花火が上がった時、色々な動物の形が出てきて凄かったです。生まれて初めてこのような花火大会が見れて、とても良かったです。

次の日は、北日本新聞社へ行きました。凄い大きな会社でした。新聞社の河合会長からお土産として素敵なノートをもらいました。それから、富山市役所へ行きました。その時、市役所の屋上へ上がって、富山市の景色を見ました。富山市はとても広くて、高いビルも多いし、それに街の中に緑や森があつてとても美しい都市です。次に、富山市長に会いに行きました。市長は五ヶ国語を話せるので、とても驚きました。市長から、ポートラムの切符をもらいました。

午後は魚津市の水族館を見に行きました。そこで、色々な魚を見て、海にいるみたいでした。

今回は、富山を見学させてもらい、素晴らしい経験をさせていただいて、心から感謝いたします。本当に有りがとうございました。



三栄樹脂株式会社
代表取締役社長 長江正憲

我が家には、フン ソクナー君、21歳の青年が7月28日から8月1日まで4泊5日で滞在しました。私、もちろん家族（妻・母82歳）も初体験。妻は、「何で我が家なの」の一言を飲み込んでくれて全面協力。母は、「私、知らない国の青年とは同じ屋根の下では夜恐ろしい」と言っていたのを何とか説き伏せ、多少の不安と心配を抱え当日を迎えました。

私が協会の皆さんと空港で一行（5人）を出迎え、阪神化成での説明会后、いよいよ単独分散行動となりました。我が家への車中では初めての外国の伯父さんと1対1。初めての海外で知らない外国人と……。ソクナー君にとってはとても緊張し不安だった事だろうと思います。我が家に到着して、妻や母の出迎えを受け少しは緊張も解かれた様子でした。

初日の夕食は協会主催の食事会（歓迎会）で、私と妻はソクナー君を連れ参加しました。一瞬、自分達の子供を引率したような錯覚さえ感じました。ソクナー君はほんの2時間前まで一緒だった同胞に接し、かなり安堵していたようでした。

その夜から5日間、朝夕を私の家族と共にし、日中は協会メンバーのご配慮で施設見学・観光・会社見学と毎日外出予定がありましたので、私の家族はほぼ通常通りの生活を送ることができ、スムーズに次ホームステイの喜多埜家に送り出すことができました。

ソクナー君へ

あなたは、背が高くイケメンで思っていたよりずっとシティーボーイでした。

毎朝早起きして“犬の散歩”・“窓ガラス拭き”有難うね。又、日本にきたら富山において。家族と犬で歓迎しますよ。

長江内より



左から長江・喜多埜。右端・近藤の受入れ三人組

喜多埜ファミリー

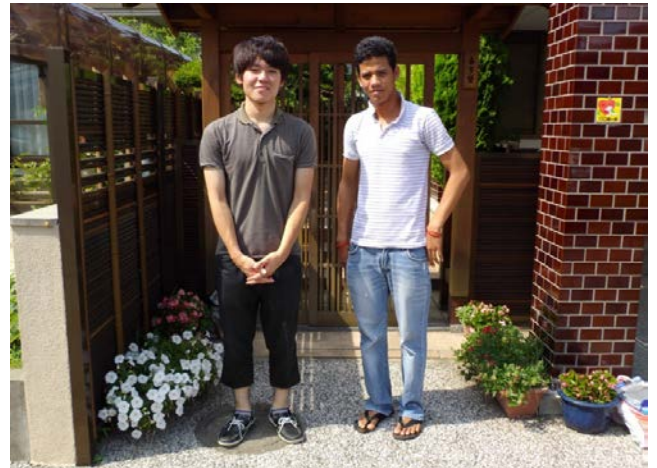
この夏、ホームステイ受入れを引き受けることになり、初めての体験という不安から我が家は大騒動。旅に行くわけでもでもないのに「地球の歩き方」の本を開いてみたり、英語ができないと騒いでみたり（カンボジアは主にクメール語）、そんな私達の前に……

「私の名前は、フン ソクナーと申します。よろしくお願ひします」と直立して、挨拶するカンボジアからの22歳の青年はとても、礼儀正しく、おしゃれでハンサムな男性でした。とても人なつっこい彼の笑顔に私達の不安もなくなり、我が子のように接することが出来ました。彼にとって我が家は2軒目のホームステイ先であったため、日本の家の生活にも慣れていました。草むしりをしたり、買い物に行ったりしましたが、彼は気遣いができて、とにかく親切です。主人や息子にも見習ってほしいものです。

終日自由行動の日がありましたので私の実家へ行きました。雄山神社を参拝し、畑で野菜を収穫しました。彼はとても手際がよく、慣れていたので聞いたところ、カンボジアにも畑はあって、野菜もほとんど同じものがあるようでした。やはりここでも、彼はおばあちゃんが重そうに持った野菜かごをすかさず持っていました。おばあちゃんも大喜びでした。

彼には私達もたくさん質問をし、カンボジアのことを聞き、それぞれに想いを巡らせました。一度は訪れたいものです。

送別会では彼と一緒に訪問している方々ともお会いしました。彼らの「学ぶ」ことへの真摯な気持ちに感動しました。色々な面で豊かなことに慣れている私達の生活をあらためて考えてみようと思います。また、同じ年代の子を持つ親として、この出会いを通して感じたこと、思ったことを我が子にも伝えたいと思います。お世話された皆様に心からお礼を申し上げます。



フン ソクナー君と、私・喜多埜晃輔です

受入れ生徒名
ポート ラタナー

ホームステイによせて

中央管機カクキュー(株)
代表取締役社長 近藤秀樹

「オトーさん。ヨロシクオネガイシマス」外国人のアクセントで、爽やかな笑顔でカンボジアの青年が家に来てくれた。小麦色の肌と白い歯がとても印象的な青年。言葉の壁をどう埋めたら、と考えた私は、県外に住む大学生の娘を呼び寄せたが、はたして、日常会話において彼は日本語を流暢に話す。なにしろホームステイは初体験なので、家族全員ハラハラしながらの受入れだったのだが「オカーさん」「ノンちゃん」

「ミツル」と、実にすんなり溶け込んでくれた。しかも彼は、毎日規則正しく起床、就寝し、家事も手伝ってくれる。「何かすることはありますか」。そう言って、掃除機や洗濯機、食洗機を「キカイ」と呼んで面白そうに使い、朝の出発前の時間をお手伝いに当ててくれた。毎日シャワーを2回浴びて、出されたものは全部「オイシーです」と言って綺麗に平らげてくれる。夕食のあとは、家族の話、戒律の厳しい上座部仏教の話。仕事の話。食べ物の話。片言ながら、文化の違いも垣間見させてもらえた。驚いたことに、彼の生まれる前のポルポト政権での圧政のことも、母国の歴史として言葉少なくではあったが語ってくれた。「日本語ジョーズですね」と話すと「いえ、まだまだアオイです」と、ユーモアも欠かさない。家の子供たちと、そう歳は変わらないのに、素直な礼儀正しい好青年だった。カンボジアという国には、こんな誠実な青年がたくさんいらっしゃるのかもしれない。

「こんどはカンボジアにも来てクダサイ。アンコールワットに案内シマス。ウチに泊まるコトハデキマセンガ・・・」と言って、申し訳なさそうに笑った。そこに、故郷プノンペン彼の家族との暮らしを私たちは少し感じた。

普通の家族として特別なこともせずに過ごし、それはほんの短い期間でしたが、良い影響を受けたのは、私たちの方だったようです。貴重な経験の機会をいただき、関係者の方々のお世話に深く感謝しています。



左から、近藤充(長男)、ポート ラタナー、喜多埜晃輔(次男)、フン ソクナー。中央=近藤望(長女)

受入れ生徒名
男性3人組

砺波・五箇山方面写真集

受入れ家庭 熊野澄夫



高岡市、セイアグリシステム伊勢社長訪問



希望地1位の井栗谷トンネル。330M歩測完了



五箇山の岩瀬家。歴史は、な〜んも解らんチャ



五箇山奥地のナンチャラ食堂で、熊野お父さんと

同行協力会員からの一言

(株)三進重機工業
代表取締役社長 土田保治

今回初めてカンボジア青年のホームステイ事業に参加させていただきました。

最初はカンボジアは地球のどの位置でどんな国かすらわからず、ただただ皆様の後についていったように思います。

今回企業訪問させていただいたのは、タイワ精機さん、日を改めて環水公園、遊覧船、富山港湾運送さんに同行させていただきました。まずは、夏本番の暑い中、カンボジアの青年達の元気良い挨拶のしっかり出来る青年達でした。また、言葉の通じないなか、

☛日本に来ていいところはどこですか？

みんなが口をそろえて言ったのは、

☛日本は綺麗でゴミが落ちていない！

という言葉でした。

確かに私も外国、特にアジア方面に行くとゴミが散乱しているのを目にすることが多かったです。今回はカンボジアの青年を迎え各企業様の会社あげでの歓迎ぶりも、私の目にもとても新鮮にうつり感激いたしました。

関係各位様におかれましては、大変お世話いただきましてありがとうございます。

また、10泊11日の全行程を完徹されました中村政勝事務局長には大変ご苦労様でした。



北日本新聞社主催、神通川花火大会

まだ、陽も落ちないなか、特別招待席で歓談
ホームステイ受入れ&応援団家族とともに

◆国際交流フェスティバル開催案内◆

日時＝11月11日(日) 午前10時半～午後5時

場所＝C i C 3 F 参加者＝当カンボジア協会、

日華親善協会、雲南省友好協会等30協会参加

今回も、この3協会を並べます。乞う見学！

受入れ生徒名
ホール・ラタナー

涙！なみだの編集後記

富山コピー販売(株) 代表取締役社長
富山県カンボジア王国親善協会 事務局長
中村政勝

- ①文中において、敬称を略させて頂いた個所が幾つか有ります。謹んでお詫びを申し上げます。
- ②生徒の文書は、**テニオハを直さず**、そのまま転記して有ります。また、文書は日記式長編の為、主要部のみの転記としました。
- ③生徒の文中に、所々アルファベットで書いてありましたが、カンボジアのビジネス用語は英語であり、東南アジアでは、カンボジアとシンガポールだけ。日本語より英語が得意そう？
- ④皆様の文書に対して、誤字脱字転記ミス等がありましたら、小生の未熟としてお許し下さい。
- ⑤8～9頁の、総合全体図の強行軍は、以下の理由です。**来日前の希望です。◆赤字は未完了。**
①トンネル。②桜の木。③温泉。④ドーム。
⑤田圃。⑥動物園。⑦スキー場。⑧水族館。
⑨野球。⑩スーパーマーケット。⑪美術館。
⑫自動販売機。⑬いけ花。⑭図書館。⑮遊園地。
- ⑥奇跡だった事。生徒が上海空港で、迷った時に道案内をしてくれた女性＝富山県人。
- ⑦感動した事。初日に阪神化成の研修生達と抱き合って、再会を喜んだ様子。・・・**涙ホロリ！**
- ⑧自信を持った事。森富山市長に「中村さんの言葉はカンボジア弁に似てますネ～」とお褒め？
◆5月の総会で、カンボジア遺跡修復団長の中川武先生にも、「久しぶりに本物の富山弁を聞きました」と感動されました？(現早稲田大学教授・富山市出身)
- ⑨平身低頭の事。富山空港で、出国手荷物整理中に新富観光サービスの沢開さんが、金にもならないのに緊急応援に来てくれて感謝！感謝！
- ⑩最後に、阪神化成の研修生にはお世話になりました。貴女たちのお陰で無事に終了出来ました。
◆語り尽せないロマンロマンの連続！皆さん、本当に有難うございました。感謝！感謝！感謝！



中村の応接室が【中継基地】＝毎日が賑やか！